

新基地建設反対名護共同センターニュース

新基地建設をやめ、コロナ対策に回せ！



上の写真は「オリンピックよりコロナ対策でしょ」、「わきまえない女たちで社会を変えようネ！」などのパネルを掲げスタンディングするメーデー参加者。左写真は、挨拶する穴井実行委員長（写真提供・しんぶん赤旗）



第92回メーデー沖縄県集会（実行委員長・穴井輝明 県労連議長）が1日、那覇市内で開かれ感染防止対策をとったうえで70人ほどが参加しました。

穴井実行委員長は、菅政権のコロナ感染症対策が後手に回っていると批判し、このもとで「非正規雇用就業者や女性など弱者がさらに困窮している。国民がしっかりと政治に目を向け、おかしいものはおかしいと声を上げましょう」と話し、総選挙を念頭に市民と野党との共闘で「一刻も早く政権交代を実現しましょう」と訴えました。軍事費を削減して新型コロナウイルス対策に回すことなどを求める宣言と、憲法、社会保障制度の改悪を許さないなどの4つの決議を採択しました。

玉城デニー知事のメッセージが紹介され、赤嶺政賢衆院議員が参加しました

「政権交代を！」メーデー沖縄県集会開く

「戦争をさせないこと」が最も重要



報告しました。講演会ではチーム緑ヶ丘の宮城智子さんも

日野原先生に教わり衝撃
憲法講演会で徳田氏語る

沖縄県憲法普及協議会などは憲法記念日の3日、那覇市内で徳田安春医師（写真）を講師に講演会を開催しました。

徳田氏は、聖路加国際病院に勤務中、日野原重明先生に「医師にとって最も重要なことは何か？」と質問したところ日野原先生は「戦争をさせないことです」という回答があったことを報告し、「沖縄出身者の自分にとって最も大事なことが抜け落ちていた」と気が付きショックだったことなど話しました。講演会ではチーム緑ヶ丘の宮城智子さんも

市議補選は「オール沖縄」が制す！

うるま市長選でテルヤ寛之氏大健闘

4月25日投開票されたうるま市長・市議補選の結果、「オール沖縄」の市長候補・照屋寛之氏は1862票差で惜敗。しかし、投票率が前回より5.2%低下したもとの前回の山内末子氏の得票数を上回る大健闘でした。市議補選は、「オール沖縄」の照屋千江美氏が3910票の大差で勝利しました。

▽うるま市長選開票結果＝選管最終

照屋 寛之 無新（オール沖縄） 25,735（48.2%）
中村 正人 無新（自公等推薦） 当 27,597（51.7%）

▽うるま市議補選開票結果＝選管最終

照屋千江美 無新（オール沖縄） 当 28,194（53.7%）
玉城 政哉 無新（自公推薦） 24,284（46.2%）



連休中の工事は中止！

辺野古新基地建設の工事は、連休中は中止となっています。ゲート前でも、大浦湾や辺野古側でも埋め立て作業は止まっています。



講演する寺島氏（上）とデニー知事

沖繩が紛争に巻き込まれてはならない

尖閣諸島問題は外交力で解決を
寺島実郎氏が那覇市で講演

日本総合研究所の寺島実郎会長は4月27日、那覇市沖繩タイムスホールでオンライン講演しました。

寺島氏は、中国が2月、海警局を武器使用可能な組織へと変えるなど緊張が高まる尖閣諸島問題に関し、歴史的経過と日本のとるべき対応について提起しました。

寺島氏は、尖閣は日本の「固有の領土」とすることは疑問だが「正当な領土」だ。しかし、米国は現在まで日本の「領有権」を認めず、「領有権には中立」というあいまいな立場をとっていることがこの問題を複雑にしている。日本は「日米同盟強化」で軍事力による抑止を強化することは「罠に陥る」。日本は外交力で米の「あいまい作戦」を正し、平和的に危機を克服することが大切だ。台湾、中国との意思疎通を深め、国連や国際司法裁判所への提訴など国際社会に日本の正当性を訴える努力をするべきだ、と報告しました。

講演後、玉城デニー知事と対談。知事は、尖閣は日本の固有の領土との認識を示し、「沖繩が紛争に巻き込まれることは決してあってはならない」と述べました。